



市古のいちご

日本共産党
市議員
(中原区)
市政報告

No.351
2019年3月

(発行・連絡先)
日本共産党
市議員団
川崎区宮本町1
川崎市役所内
☎ 200-3360
FAX 245-4140

☎ 511-7592
(平間事務所)

市古議員が予算委員会質問

駅前広場の「喫煙所」改善検討

喫煙場所は企業
の構内にと要望

依然として近隣からの苦情が絶えませんが、今後、「壁は2m×3m程度の高さ」出入口には方向転換のクランクなどを参考に、環境改善に向けた検討が約束されました。また、社員喫煙は企業敷地内で、と要望しました。

日医大の工事、住民説明会をいねいに

この4月開校の小杉小学校



質問に立つ市古てるみ議員

新入学準備金の事前支給は実現しましたが、横浜市と比べ小学校で12,500円も少ない補助金額を、せめて横浜市並にすること。国で補助対象になった卒業アルバム代を、川崎市も補助対象にするよう求めました。

図書館整備遅れ深刻 玉川地区に図書館分館を

26万人が住む中原区に図書館は1館だけ、いつも混雑している

共産党の代表質問 市民要望に応える 予算編成を

借金返済の「減債基金」が溜め込み過ぎて

いる問題や、減債基金 断で臨港道路事業費等に451億円積み立て 約2倍に増額したことながら115億円を借 了承した問題など指り入れ、収支不足が生 摘。大規模事業優先やじているように見せか め市民要望に応える予 けている問題。市長独 算をと質しました。



放射線量の定期定点測定 昨年とほぼ同数値

今年も、住民のみなさんとともに放射線量の測定を行いました。

新年度に予算化された地域要望

長期保全計画となった住吉中学校は、防水、外壁補修、トイレ改修、エレベーター設置、内装工事、断熱化工事などが行われます。冷房化は、住中の放送室、玉川小の理科



全面改装される住吉中学校

武蔵小杉駅(横須賀線)の新改札口の調査・設計と用地購入予算も、災害時の帰宅困難者の支援場所として、公園が整備されます。私道共同排水設備の修繕に助成制度が開始されます。補助率の基準は私道舗装の補修と同じで、公費負担が原則7割です。



宿 白岩 忠夫さん

「私の活動は皆さんに報告します」と市古てるみ議員が公約し、初当選翌月の1987年5月に発刊された「いちごだより」は、8期32年間発行され続けました。地域にくまなく配布されてきたことで、広範な方々から「読んでますよ」「毎号楽しみにしています」と声をかけられました。

街路樹の害虫駆除からまちづくり、そして暮らしを守る生活相談。住民の苦難に寄り添い、昼夜を問わず取り組んだ市古議員の「活動」が紙面に反映し、読者の心をとらえたのでしょう。住民と力を合わせ、当局と交渉し、議会を取り上げ、一つひとつ前進させる。そして「市民が主人公」の川崎市政、安心して暮らせる平和な日本をめざす活動でした。この活動姿勢と蓄積が若い世代に継承され、住民の共感と期待が更に積みあげられていくよう、心から願っています。

公園はだしの広場の「足洗い場」 使用開始(4月20日)までに補修

中原平和公園内の「はだしの広場」は、4月20日から水が広場に満たされ、使用開始に。毎年くなり、不便をきたし早い修理たいへんな人気でたくさんの子どもたちでおおにぎわいです。



改善されることになった「足洗い場」

ところがこの「足洗い場」が昨年来、排水が故障して使えなくなりました。毎年くなり、不便をきたし早い修理たいへんな人気でたくさんの子どもたちがおおにぎわいです。中原区役所道路公園センターから、「今年の使用開始までには補修できるようにしたい」との回答がありました。平和公園ができてすでに40年以上たち、周辺の排水設備も老朽化しています。2019年度中に排水施設の調査と設計、2020年に改修を行い、周辺の水はけも改善されるということです。

福祉とくらしの案内

いつでも診療機関を案内

平日や夜間、休日でも、場合、民間救急車やタクシーの手術もしてくれまして、この医療機関です。

診てもらえるのかわからず、適切な医療機関を年中無休で案内しています。

また、通院手段がない
○相談は 共産党市議員
0442003360

平間商店街の交差点部分を改修

点部分を改修

末から3カ所で改修が行われました。半たわみ性舗装のうえにカラー化され、たいへん歩きやすくなりました。

「辺野古埋立て中止」求める意見書(案)

車の通行量が増え、商店街の交差点部分の路面が弛んで、破損が激しく、つまずいてけがをする人も。昨年来商店街から相談を受け、川崎市の制度を利用する改修工事について、担当局長に要請。商店街役員のみならず、が精力的に努力され、今年2月、自民、公明など反対、不採択にされました。



安全になった平間商店街の交差点付近

「いちごだより」が終刊
市古てるみ市会議員の引退に伴って、「いちごだより」も本号をもって終刊となります。

長い間の愛読とご協力ありがとうございました。
「いちごだより」編集部

自衛隊「適齢者」名簿 川崎市も印刷提供

安倍内閣が、自衛官募集のために自治体に「適齢者」名簿などの提出を求め、約9割の自治体が協力していることがわかりました。

名簿提出は自治体の義務ではないのです。ところが川崎市も総務省から要請があった後、2017年から18歳と28歳の間、自衛隊が海外の競争に参加することが現実化したことで、本人の了解も個人情報保護も無視して、私たちの子どもの名簿を従順に提出していたとは、背ずじが寒くなる思いです。



市議会予算審査委員会の最終日のいちばん最後に、質問に立ちました。32年間の最後の質問は何を取り上げようか考えてきましたが、4つの項目(一画参照)を取り上げました。

答弁の多くは決して納得のいくものではありませんでしたが、これらの課題は、改選後の我が議員団が問題意識をさらに深め、取り組んでいくと思えます、と述べました。そして、「私の市議会議員としての質問はこれをもって終了いたします」

市古てるみ

す。32年間、市民のみならず、市長を始め理事者のみなさま、議会同のみならず、議員のみならず、ほんとうにお世話になりました」と結びました。議場のみなさんから、拍手をいただきました。議場を出るとき、「長い間、くろくろまでした」と何人も議員から声をかけていただきました。控室に戻ると、傍聴に来てくださった女性たちが、花束を持ってきてくださいました。口々に、新しい世代にバトンをひき継ぎたいと思えます。